

オクトレオスキャン検査

新しい神経内分泌腫瘍（Neuroendocrine tumor）の R I 検査薬（オクトレオスキャン）が承認され 2016 年 1 月から販売開始となりました。当院でもいち早く対応し現在検査可能となっております。

オクトレオスキャン検査は神経内分泌腫瘍（Neuroendocrine tumor: NET と略す）を調べるための検査になります。神経内分泌腫瘍とは神経内分泌細胞（インスリンやガストリン、グルカゴンなどの体を調整するホルモンなどを分泌する細胞）からできるまれな腫瘍になります。主に膵臓や肺（カルチノイド腫瘍や小細胞がん）、消化管（胃や十二指腸、小腸）などに好発します。また、インスリノーマ、ガストリノーマ、グルカゴノーマなどの分泌されるホルモンによって身体に特徴的な症状が出現するため早期発見されやすい機能性神経内分泌腫瘍と、自覚症状のない非機能性神経内分泌腫瘍に分類されます。多くの神経内分泌腫瘍には消化管ホルモンであるソマトスタチン受容体があることから、ソマトスタチン類似物質が治療薬として使われています。オクトレオスキャンはこのソマトスタチン受容体に結合することで腫瘍を画像化し局在部位を診断するための検査になります。

検査の流れ

検査前の注意点

- 食事制限はありませんが、十分に水分をとってください。^{※1}
- 便秘がちな方は事前に医師にお申し出ください。^{※2}
- 他の治療を受けている方は事前に医師にお申し出ください。

1日目(注射当日)

- 1 お薬（オクトレオスキャン）を静脈注射します。
- 2 注射4時間後にガンマカメラで、全身の画像を撮像します。撮像には1時間くらいかかります。



2日目(注射翌日)

注射24時間後に1日目と同様、1時間くらいかけて撮像します。画像を確認して終了です。

必要に応じて注射48時間後（3日目、注射翌々日）にも撮像を行うことがあります。



^{※1} お薬は主に尿や便として排泄されます。尿排泄を促進することで被ばくを減らし、鮮明な画像を撮像できるため、水分をなるべく多く摂取してください。

^{※2} 便秘の場合は下剤を服用し、検査前に排便することが望ましいです。